令和二年度　入学試験問題　国語

Ⅰ　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「学」という字がある。[A]は「子」。画数は[B]画。音読みは、[C]。[D]読みは、まな（ぶ）。

人生の間で何度この字を目にしてきただろうか。確か、小学一年生で習う漢字だ。「学習」や「学力」、「数学」、「学校」、「学科」など、この文章を読んでいる君にとってもaミヂカに使われている言葉のはずだ。「学習」とは「学び習う」、「学力」とは「学んだ力」という意味である。そんなの当然分かるよ、と思うかもしれない。そこで考えてみてほしいのが、「学ぶ」とは一体どういう行動なのかということである。

「まなぶ」は、[甲]という意味である「まねぶ」という言葉から生まれた。ある程度bチノウが高い動物が母親やcムれの大人たちを手本とするように、私たち人間も周囲の大人たちの行動をd糧として成長してきた。「まねぶ」ためには、お手本の動きや行動をそっくりそのままe模倣することが求められる。[Ⅰ]、お手本を何度も何度もf実践してもらう必要があり、それを参考にする「まねぶ」側はどうしても受動的な姿勢が求められた。[Ⅱ]、「まねぶ」が「まなぶ」に変化していく過程で、一方的な両者の関係にも変化が生じることになる。[Ⅲ]、文字やgギジュツが発達して本が生まれると、常に本の作者が隣に居なくても「まなぶ」側は知識や思想を得ることができるようになった。このように知識の伝達が直接的なものから、間接的なものへと変化すると、「まなぶ」側は自らの意思で「お手本」を選ぶことができる。周囲の大人を取り換えることは難しいが、読みたい本は自分で選べるからである。したがって、学ぶという行動は、一方的に受け取る側であった「まねぶ」とは反対に、次第に[乙]的になっていったといえる。もちろん、だれかから教わることも語源が示すように「学ぶ」という行動に含まれる。しかし、だれかから直接教わらなくても、本やテレビ番組、映画、動物、自然など、自分の周りにあるものすべてから人間は学ぶことができる。ひとりでも知識や経験を得られること、これが「学ぶ」という行動の本質であり、これこそ注目すべき点なのではないだろうか。

言い換えれば、人間はひとりでどんどん成長できる。そのためには、まずは①自分のことをよく知るところから始めないといけない。成長というのは苦手をh克服すること、「できない」を「できる」に変えていくことだ。たまごがいきなり鶏になれず、まずは、ひよことして生まれ、それから鶏になるように、物事には順序というものがある。自分の今の段階を知り、そして順序を踏んでいけば、どんどん次の段階へと進んでいけるのだ。

君は今、何ができて、何ができないのだろうか。何が苦手で、どんなときに悲しくなったり怒ったりするだろうか。人間だれしも、できるなら、何でも得意で、好きになれて、どんな時でもご機嫌でいたいと思うことの方が多いだろう。そうなるためには、苦手なことや何に対して自分が怒りや不安を感じるかなど、自分の中のマイナス面に目を向けて、それをiブンセキすることが重要である。

「数学が苦手」、「英語が苦手」、「国語が苦手」。それはどうしてだろうか。いつからだろうか。ひとつひとつ自分の記憶を振り返っていけば、きっと苦手になった原因やきっかけを見つけられるはずだ。あとは、その場所から、できるまで練習すれば、時間はかかっても、いつしか苦手ではなくなっているだろう。これは、②勉強でも、スポーツでも、趣味でも、何においても共通している一つの真理だ。だから、苦手なことが多すぎる、という人は、逆に自分の伸ばせるところをよく分かっている人ということである。

君が、この手順を面倒くさがったり、j妥協したりしなければ、いつかきっと、なりたい自分になることができる。さあ、君は何を学びたいだろうか。どのような自分になりたいだろうか。君はそれを決めることができるのだ。

（『学ぶという行動』本校教員による文章）

問一　空欄[A]～[D]に入る語を答えなさい。
　　ただし、[A]は漢字二字、[B]は漢数字、[C]はカタカナ、[D]は漢字一字でそれぞれ答えること。

問二　二重傍線部a・b・c・g・iのカタカナを漢字に直しなさい。

問三　二重傍線部d・e・f・h・jの漢字の読みをひらがなで答えなさい。

問四　空欄[甲]に入る言葉として適切なものを次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。
　　ア　招く　　イ　真似る　　ウ　巻く　　エ　免れる

問五　空欄[Ⅰ]～[Ⅲ]に入る言葉として適切なものを次のア～オよりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。
　　ア　だから　　イ　例えば　　ウ　つまり　　エ　しかし　　オ　それでは

問六　空欄[乙]に入る言葉を前後の文章を参考にして、漢字二字で答えなさい。

問七　傍線部①「自分のことをよく知る」とあるが、具体的に何を知ればよいと作者は考えているか。本文中から十字で抜き出しなさい。

問八　傍線部②「勉強でも、スポーツでも、趣味でも、何においても共通している一つの真理」とあるが、どのようにすることが苦手をなくす上で重要か。文中の言葉を用いて三十字以内で答えなさい。なお、句読点は一字として数えます。

問九　本文の内容として適切なものを次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

ア　自分がお手本となることで、一方的に学ばされる立場から、自分を成長させることができる。
イ　目の前にだれかが居なくても、自分の周りにあるものすべてから人間は学ぶことができる。
ウ　成長のためには、たまごからひよこ、ひよこから鶏といった物事の順序を学ぶことが重要である。
エ　自分には苦手なことが多いと言う人は、自分の伸ばせるところをあまりよく分かっていない人だ。

Ⅱ　次の文章は『正法眼蔵随聞記』からの出典である。これは鎌倉時代の僧である道元禅師の説法を弟子がまとめたものである。道元禅師は二人の人物を例に挙げて、人や物事を判断する際の注意点を述べている。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

昔、〈※1〉孔子に、〈※2〉一人有つて来帰す。

孔子、問うてⅠ云はく、「汝、①何を以てか来つて我に帰する。」〈※3〉彼の俗云はく、「君子参内の時、これを見しに、〈※4〉顒々として威勢あり。依つて、これに帰す。」孔子、弟子をして、乗物・装束・金銀・財物等を取り出して、これをⅡ与へき。「②汝、我に帰するに非ず。」また云はく、〈※5〉宇治の関白殿、ある時、〈※6〉鼎殿に到つて、火を焼く処を見る。鼎殿見て云はく、「何者ぞ。〈※7〉さうなく御所の鼎殿へ入るは」と云つて、③追ひ出されて後、先の悪き衣服を脱ぎ改めて、顒々として〈※8〉取装束して、出で給ふ。時に、前の鼎殿、〈※9〉遥かに見て、恐れ入つて逃げぬ。時に、殿下、装束を竿に掛けられて、拝せられけり。人、これを問ふ。答へて云はく、「我、人に貴びらるるも、我が徳に非ず。ただ、この④のⅢゆゑなり。」愚かなる者の、人を貴ぶ事、⑤かくの如し。経教の文字等を貴ぶ事も、またかくの如し。

注　**〈※1〉孔子…中国の思想家。儒教の開祖。**　**〈※2〉一人有つて来帰す…ひとりの人が来て、身を寄せた**
〈※3〉彼の俗…その世間なみの人。俗は俗人。普通の人の意。　**〈※4〉顒々…勢いの盛んな様子。**
〈※5〉宇治の関白殿…藤原頼通。藤原氏の全盛を築いた道長の長男で、天皇三代にわたり摂政・関白を務めた。
〈※6〉鼎殿…宮中にあって、湯をわかす所。また、そこに勤める役人のこと。　**〈※7〉さうなく…考えもなく。自分勝手に**
〈※8〉取装束して…急いで装束を身に付け　**〈※9〉遥かに見て…遠くから見て**

問一　二重傍線部Ⅰ～Ⅲの語句を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで答えなさい。

問二　傍線部①「何を以てか来つて我に帰する。」の解釈として適切なものを次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。
ア　何を持参して、わたしの所へ身を寄せたのか。　イ　どうやって、わたしの所へ身を寄せたのか。
ウ　どんな理由で、わたしの所へ身を寄せたのか。　エ　いつの間に、わたしの所へ身を寄せたのか。

問三　傍線部②「汝、我に帰するに非ず。」とあるが、孔子は彼の俗が何を頼って身を寄せたと考えているか。適切なものを次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。
ア　孔子の思想　イ　孔子の人柄　ウ　孔子の弟子　エ　孔子の所有物

問四　傍線部③「追ひ出されて」とあるが、関白殿が追い出された理由として適切なものを次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。
ア　関白とはいえ、宮中の施設に無断で入り込んだから。　イ　関白殿の服が汚れており、天皇に対して非礼であったから。
ウ　上等ではない服を着ていたため、不審者扱いされたから。　エ　火を扱う危険な場所に、権力者である関白殿が訪れたから。

問五　空欄 ④ に入る語を本文中より二字で抜き出し答えなさい。

問六　傍線部⑤「かくの如し」とあるが、その状況に最も類似した表現を次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。
ア　木を見て森を見ず　イ　木によりて魚を求む　ウ　木に鼻をくくる　エ　枯木も山の賑わい

問七　本文に登場する宇治の関白殿が建立した寺院として適切なものを次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。
ア　中尊寺金色堂　イ　平等院鳳凰堂　ウ　蓮華王院三十三間堂　エ　延暦寺根本中堂

問八　出典の『正法眼蔵随聞記』は鎌倉時代の作品である。同じ時代に成立した作品を次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。
ア　新古今和歌集　イ　万葉集　ウ　源氏物語　エ　枕草子

Ⅲ　次のことわざ・慣用句・故事成語の問いに答えなさい。

問一　次の空欄①～⑤に共通する漢字を入れ、ことわざ・慣用句・故事成語を完成させよ。ただし、空欄には漢数字が入る。
①（　【　】里の道も一歩から）　②（　【　】害あって一利なし）　③（　風邪は【　】病の元　鶴は千年、亀は【　】年）
④（　一騎当【　】　親の光は【　】光　【　】転び八起き）　⑤（　一寸の虫にも【　】分の魂　【　】里霧中）

問二　次の①～⑤の意味を持つ語句を、次のア～コよりそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。
①　非難　②　危険　③　抵抗　④　大切　⑤　無知
ア　井の中の蛙　イ　一矢報いる　ウ　年寄りの冷や水　エ　虎の尾を踏む　オ　果報は寝て待て
カ　弱肉強食　キ　病は気から　ク　やり玉に挙げる　ケ　朝三暮四　コ　目に入れても痛くない

令和二年度　入学試験　解答用紙　国語

受験番号【　　】　名前【　　】

Ⅲ		Ⅱ								Ⅰ										
二	一	八	七	六	五	四	三	二	一	九	八	七	六	五	四	三	二		一
①	①								Ⅰ					Ⅰ		h	d	g	a	A
②	②																			B
									Ⅱ					Ⅱ		j	e	i	b	
③	③																			C
④	④																			D
									Ⅲ					Ⅲ			f		c	
⑤	⑤																			

令和二年度　入学試験　解答　国語

受験番号【　　】　名前【　　】

緑…1点　赤…2点　黒…3点　青…4点

Ⅰ																		
一	二		三		四	五	六	七	八		九
A	a	g	d	h	イ	Ⅰ	能動	自	苦	か	イ
部首	身近	技術	かて	こくふく		ア		分	手	ら	
								の	に	で	
B								中	な	き	
八	b	i	e	j		Ⅱ		の	っ	る	
								マ	た	ま	
C						エ		イ	原	で	
ガク	知能	分析	もほう	だきょう				ナ	因	練	
								ス	を	習	
D								面	見	す	
訓	c		f			Ⅲ			つ	る	
	群		じっせん			イ			け	こ	
									、	と	
									そ	。	
									こ		

Ⅱ								Ⅲ	
一	二	三	四	五	六	七	八	一	二
Ⅰ	ウ	エ	ウ	装束	ア	イ	ア	①	①
いわく								②	②
								エ	百
Ⅱ								③	③
あたえ								イ	万
								④	④
Ⅲ								コ	七
ゆえ								⑤	⑤
								ア	五